



故 仙谷由人副会長・理事長代行

10月11日 仙谷由人副会長・理事長代行逝く

仙谷副会長・理事長代行の突然の訃報に接し、心から哀悼の誠を捧げます。

日本ミャンマー協会創立以来、副会長・理事長代行として誠心誠意、当協会の発展のために務めていただき、会長・理事長の私に対しても適切なアドバイスを賜り、協会運営に多大なる協力支援を頂いて参りました。また、会員の皆様様の活動にも筆舌に尽くせぬ努力をしていただいたことは、誰もが認めるところであります。

この間、私と共にミャンマー訪問をすること数十回に及び、ミャンマーの大統領、諸閣僚、あるいは国軍の最高指導者など、ミャンマーを支える中枢の皆さんとも親しく懇談を重ねられ、時には叱咤激励し、相互の友情と信頼を確実に構築してこられたことには、両国関係の皆様からも敬意を持って評価されていると確信しております。

ミャンマーの発展における人材育成の重要性を説かれ、当協会活動のなかでも、最先端技術を利用した医療機器に関する人材育成や、技能実習生受け入れなどのプロジェクトについては具体的に実現の運びとなっておりますことは、日本・ミャンマー両国にとって極めて意義深い成果であったと、敬意を顕さずには居られません。

常に人間愛、ヒューマンイズムを基本とし、現実的國家観の中からの平和主義を貫いてこられたことは、多くの人々に高く評価されており、今更、私が言うまでのことはありません。日本の政党政治、あるいは行政の中で、持ち前のバランス感覚を発揮し、政策実現と将来を見据えた決断力を持って情熱的に取り組んでこられたことは、その存在感を揺ぎ無いものとして大きく評価されているところであります。

国内政治は勿論のこと、日緬のみならず、日韓、日中、日越などの議員外交としての取り組みは、特筆すべき大きな成果が実っていることは万人が認めるところであります。

あまりにも早く不帰の客となられたことは誰もが想像できなかったことです。

今は亡き仙谷由人副会長・理事長代行のこれまでの輝ける多大な業績に敬意を払い、在りし日を偲び、心から御冥福をお祈り致します。

合掌

日本ミャンマー協会 会長・代表理事 渡邊 秀央



2015年7月
テイン・セイン大統領(当時)訪日の際に



2017年2月
第4回ビジネスマッチングで挨拶する仙谷副会長



2017年2月
ティラワ SEZ ソーンBの起工式で
(右より仙谷副会長、渡邊会長、樋口大使(当時)、
ヘンリー・ヴァン・ティオ副大統領)



2018年4月
ミン・トゥエ保健スポーツ大臣をお迎えて
(右から仙谷副会長、加藤厚生労働大臣(当時)、
ミン・トゥエ保健スポーツ大臣、渡邊会長)